

令和3年度福井市空き家等対策協議会の議事要旨等

1. 開催日時

令和3年8月2日（月） 13時30分 ～ 15時30分

2. 出席者

野嶋委員（会長）、吉田委員（副会長）、廣瀬委員、小野委員、田中委員、勝二委員、峯金委員、辰野委員、本岡委員、姉崎委員、松川委員、増永委員

3. 議事

- （1）福井市空き家等対策計画の進捗状況
 - 空き家等対策計画の進行状況の報告（資料1）
- （2）「空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な指針」等の一部改正について
 - 基本指針及びガイドラインの一部改正（資料2）
- （3）福井市空き家等対策計画の改訂について
 - 福井市空き家等対策計画の改訂及び実態調査（資料3）
- （4）特定空き家等の対応状況
 - 特定空き家の認定状況、改善状況の説明、指導状況説明（資料4）
- （5）福井市空き家対策総合実施計画について
 - 国庫補助申請に伴う福井市空き家対策総合実施計画の作成（資料5）

<主な意見（順不同）>

- ア 無料相談会の広報で22名の相談者があったということですが、（中略）もう少し、数多くの参加者があってもいいんじゃないのか
- イ 特定空き家の除去の支援事業による解体費助成。この制度を、まだまだ皆さんよく存じてないし、まだ身近に感じていないんじゃないかと思う
- ウ 近隣の住民の意識も、「あ、あそこに老朽家屋、廃屋がある」というようなことで、（中略）地域住民の意識の啓発にも、つながっていくんじゃないかなと思いますので、（中略）映像とか、もしくは紙面とかいったもので、もうちょっと、メディアに協力をお願いしては如何か
- エ 全国では、（中略）かなりの相続管財人制度を利用した処置がされている、と出ていますけれども、（中略）どういう対応を今後考えているのか
- オ 空き家バンクにしても、補助金にしても、あるいは空き家に関する危機感にしてもですが、今ひとつ周知されていないんじゃないか
- カ 一番よく知っているのは、おそらく近所の人だと思う、（中略）そのあたりからの情報

の収集とそれから啓蒙。そのあたりをしていくのが重要

- キ 福井だからこそ、自治会組織がしっかり残っているというところをしっかりと活用できる体制にならないか
- ク 市民一人一人にいきわたるような、そういった連絡システムというか、このようなことはできないものか
- ケ 情報を集めるもそうだけど、こういう制度があるとかですね、空き家バンクあるとか、こういう地道な活動をされているということを、自治会通じて発信できるような仕組みといえますか、そういうようなものを考えてもらいたい
- コ 固定資産税の評価の通知書を出すときに一文入れていただきまして、興味を持った方から連絡があったときには、そこの方に直接出向き、若しくは、相談など色んなことを含めて解決の糸口を図るという形をとったほうがいい
- サ 老朽した家に関しては、今までの基準よりも少しシフトを変えて、解体の方に少し、基準を緩やかにしてもらおうということも考えられる
- シ 現在一人暮らしさんとか高齢者世帯です。よく空き家予備軍世帯と言われていますが、そういう世帯に向けて、今までこういう制度がありますよとか、こういう問題がこれから起きますよとか、そういった啓発というか、そういったものも必要になる
- ス （空き家に関する）情報さえあれば、自分たちが亡くなった時に、「たぶん誰も帰ってこないが、これからどうする」と、（中略）準備しておける人はいるかと思う
- セ そういった情報を事前にもらえれば、空き家になる前に準備できる方もいらっしゃるんじゃないかなと、支援者も含めて思うので、そこは（情報を）いただけるといい
- ソ やはり20代、30代、40代の親御さんがだんだんと年を取られた世代への周知徹底
- タ 今お家を買おうとしている方に対して、今後お家を買ってどうしていくんだよっていうところまで踏まえた情報提供も非常に重要になってくる
- チ 既存住宅状況調査技術者（中略）、何のメリットもないので高い講習料を払ってこの資格を持っている意味をあんまり感じなかったということで、更新講習をされる方が非常に減っている
- ツ そういったところ（既存住宅状況調査技術者）をもっともっと活用していったら、資産価値を高めることによって空き家にしない、住宅のそういう流通を、中高住宅の流通を増やしていくというところにも、長い目をみすれば、もっと力を入れていったらいい
- テ 流通を促進させて、空き家になってもすぐに流通させて資産価値を下げないっていう根本的な理念的なところも大事